

応募の際の注意事項

- 別添の「海外研究留学助成規定」をよく読み、記載内容を了承した上で、応募資格を満たしていることを確認すること。
- ウェブサイトより申請書 Form1-7 (Word ファイル) をダウンロードし、A4 フォームを崩さないようにして必要事項を記入する。
- 推薦者の推薦件数は1 推薦者につき1 件とする。
大学院生を含む学位取得見込み者の場合は、取得予定大学の医科大学長・医学研究科長・研究院長、
学位取得者の場合は、職場（病院、研究所・センター）の機関長が推薦者となる。
（医科大学・大学医学部の職員、ポスドクは、医科大学長・医学研究科長・研究院長が推薦者となる）。
- 日本学術振興会（JSPS）や他財団から、年 400 万円以上の大型留学助成を重複して受領することは認めないが、それよりも少ない額の留学助成との併用は可とする。
- 申請書の各頁の上部に文字サイズや頁が指定してある場合は、それに従うこと。
- 語学検定試験結果（様式7）は、TOEIC、TOEFL、英検などのスコア・級とそれを取った年月とを記載すること。複数あれば、複数記載しても可。その成績証明書の写しを余白があれば余白に貼り、なければ別紙として提出すること。
- 海外学術研究機関の受入承諾書は様式を問わないが、後に添付の見本の如く、英語で以下の項目を盛り込むこと。
 - 1) 受入先のレターヘッドの入った用紙を使用し、
 - ① 留学の始期および終期（申請書様式1 の「海外予定研究期間」と整合性があり、かつ、ともに24 ヶ月以上であること）
 - ② 助成期間中の給与支給の有無および年間給与額
 - ③ 受入先でのポジションを記載して、①～③の記載部分にアンダーラインを引くこと。
 - 2) 受入責任者（メンター）の職位、部局名、機関名を記載して署名をもらうこと。
 - 3) 原本でなく、写し（PDF）でも良いが、電子メールだけで受入責任者の署名がないものは不可とする。

- 提出書類は、
 - ・様式 1～7
 - ・業績としての論文別刷り（3報以内）
 - ・語学検定試験結果の成績証明書（様式7に貼付できない場合）
 - ・医師免許証または医師資格証の写し
 - ・学位（PhD）授与（取得）証明書
（取得見込みのものは、その旨記載し、取得次第提出する）
 - ・海外学術研究機関の最低2年間の受入承諾書
 - ・戸籍抄本または謄本。永住者は「永住者証明書」の写し
- を揃えて、下記まで郵送すること。

公益財団法人 武田科学振興財団 「海外研究留学助成」事務局
〒541-0045 大阪府中央区道修町二丁目3番6号
Tel: 06-6233-6109、Fax: 06-6233-6112

- 応募締切は、2018年10月26日(金) 必着とする。
- 申請書や記載に不備がある場合、事務局レベルで審査員に失礼であると判断すれば却下する場合がありますので、提出前によく確認すること。

以上

海外学術研究機関の受入承諾書見本

受入先のレターヘッド入り用紙を使用

July 25th 2018

Dear Dr. Taro Takeda

受入先でのポジション

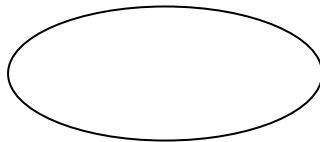
I am willing to host you as a **Research Fellow** in my laboratory in the Division of XXX, Department of XXX, University of XXX if you are awarded an Overseas Research Fellowship from Takeda Science Foundation.

The planned term for your appointment is from **April 1st, 2019 to March 31st, 2021**. Your salary will be **\$ 20,000** per year.

Sincerely,

年間給与額を記載(無給の場合はその旨記載)

留学の始期および終期



受入責任者のサイン

Hanako Kagaku
Position
Department
Institute

受入責任者の職位、部局名、機関名